

編集後記

2023年度はポスト・コロナ期となり、海外調査を生き甲斐とする学会関係者には待ちに待った年となりました。しかし、ロシア軍のウクライナ侵攻は終息せず、トルコ・シリアでの大地震の復興も十分とは言えない中、ガザ地区でイスラエルの軍事行動が始まりました。西アジアで活動する我々にとって、今年度も厳しい状況は続いています。また、私が住んでいる石川県では、1月1日午後4時10分に、能登半島を中心に震度7の強い地震が発生しました。今回の地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りします。そして、被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

国内外で様々な戦災・震災が発生する中、編集委員会は真摯に編集作業に取り組んで参りました。今号は、研究ノート4本、資料紹介1本、動向3本、講演録1本、追悼文1本、という内容になりました。前号より、やや多めの頁数となりましたが、今号は論文がない学会誌となってしまいました。編集長として心よりお詫び申し上げます。少なくない数の論考が投稿されており、投稿数の減少による結果ではございません。厳正な査読制により、大変厳しい審査が実施されている結果です。本会の学術的なレベルアップに少しでも寄与するため、編集委員会一同が精励しておりますので、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

今号には上岡弘二氏の追悼文を掲載しております。上岡氏には何度も激励をいただき、その都度、大変元気付けられました。学恩に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(足立拓朗)

『西アジア考古学』 編集委員会 (2023年度)

編集委員長：足立拓朗 (金沢大学)

編集委員：新井才二 (東京大学)、有村 誠 (東海大学)、板橋 悠 (筑波大学)、上杉彰紀 (鶴見大学)、小野塚拓造 (東京国立博物館)、河合 望 (金沢大学)、坂本 翼 (京都大学)、柴田大輔 (筑波大学)、下釜和也 (千葉工業大学)、周藤芳幸 (名古屋大学)、千本真生 (古代オリエント博物館)、巽 善信 (天理大学附属天理参考館)、宮下 佐江子 (国士舘大学)、矢澤 健 (東日本国際大学)

西アジア考古学 第25号

2024年3月31日発行

編集 『西アジア考古学』編集委員会

発行 日本西アジア考古学会

事務局 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人文社会系歴史・人類学専攻 三宅研究室

FAX 029-853-4432

(日本西アジア考古学会事務局宛と明記)

e-mail office@jswaa.org

URL <http://jswaa.org>

印刷 株式会社アイワード

